

PTA総会で

先日、PTA総会が開催されました。その際、私から、以下のようなお話をさせて頂きましたので、掲載させていただきます。

連休中の子ども達の体調管理や安全確保へのご協力もいただき、おかげさまで、本校では連休後スムーズな再スタートを切ったところです。

さて、連休中に「ちこちゃんに叱られる」と言う番組をやっていたのをご覧になりましたでしょうか。私自身も5歳のちこちゃんの質問に答えられなくて「またしかられちゃった」とテレビの前でうなだれているのですが、保護者の皆さんはいかがでしょう。英語で質問するときを使う「5W1H」のうち「いつ」「どこで」「だれが」「なにを」という4つのWの質問には慣れているのですが、ちこちゃんは、「どうして」「どうやって」という「WHY」「HOW」の質問をしてくる。私はこういうことに疑問を持つことが大切であると考えています。20年後にはAI時代の本格的な到来とされています。今の子供達はそんな時代のど真ん中でがんばって生きていくこととなります。その時にAIにできる4Wは任せ、まさに「WHY」「HOW」の部分人間が行っていくことが大切だと思います。

本校の学校教育目標は「自ら主体的に考え行動する子ども」です。未来を生き抜く子ども達に必要な力を育ててまいります。

先日、ある保護者の方が「南極の氷」を持ってきてくださいました。大変貴重なもので、その方がおっしゃるには「2万年以上前にできた氷」なんだそうです。よくみると氷の中に小さい気泡ができています。この気泡の中の気体は「2万年以上前の空気」ということとなります。この氷を全校のクラスでみてもらいました。すると子供たちからは「なぜ2万年前の空気が入っているの?」や「なぜ南極はそんなに寒い?」など様々な疑問がわいたそうです。こうした疑問をもてたことはとても素晴らしいことです。もちろん夏休みの研究に生かすこともよいでしょうし、図書室に行って調べるのもいいでしょう。大事なことは、まず疑問を持つことから「主体的に考える」子どもの育成を行っていきたいと思っています。

また、一部教科担任制を行うことでより専門性の高い授業を子供たちに提供していきたいと考えております。

一方、家庭との連携をさらに進めていくために、月1回教育相談の日を設定しました。日ごろから担任に相談したいことがあってもスケジュール調整を考えて懇談会まで先送り、ではなくできるだけ早期に対応していきたくて考えております。学校では、その日は部活動も会議も持ちませんので遠慮なく相談をしてください。もちろんこれまで同様「いつでも授業を参観できます」という姿勢は継続いたします。

私から、保護者の皆様にお願いが3点あります。

一つ目は、子どもの疑問を大切にしてほしいということです。

先ほど学校での取り組み例を紹介しましたが、家庭でもふだん生活している中で子どもが疑問を持つことが多いと思います。たとえば、買い物にいくと、同じ「豆腐」でも、あるものは39円であり、あるものは150円だったりします。「どうしてこんなに金額がちがうの」と疑問をもったら素晴らしいと思います。こうした生活体験から出てくる疑問を大切にしてほしいのです。答えてあげる必要はありません。「すごいね。いっしょに調べてみようか」でいいと思います。

2つ目は、家庭学習の充実です。基礎基本や反復練習はどうしても時間がかかってしまいます。学校でも取り組んでおりますが、授業だけで補うことは難しいところがあります。また、中学校以降の学習の習慣化につなげていくためにも、ぜひご家庭のご協力をお願いします。

3つ目は、「子どもの前で学校や担任の良くないところを言わないでほしい」です。子どもにとって保護者の影響は絶大です。その保護者が学校や担任にたいして不信感を持つとその影響は子どもにすぐ現れます。時には授業が成立しなくなることもあります。だから学校や担任に対して気になることは、直接話していただければと思います。むずかしいようであれば、PTA学級委員の方にご協力頂くなどの方法もあるかと思えます。学校でも改善できることはどんどん行い、家庭との連携をさらに進めていくことでよりよい教育を行っていきたくて考えています。

今年度もどうぞよろしくお願いいいたします。